

学ぶチーム 「せんだいまなびバ」

せんだいまちづくりラボ最終報告
「学び発信する人を探すために」

チームメンバー

前川 雅尚 佐々木 敦斗 田中 結希
早坂 綾 飯島 まさみ 梅木 結希乃



第一回目
ワーク
シヨツプ

「学び」というテーマから仙台の中で学べる場所にフォーカスを当て、学べる場所どんなところなのか話し合った。

学都仙台と言われながら社会人が共に学べるスペースはないのではないかと疑問をいただくようになった。

そこで社会人でも学びのあるスペースを取材しようとフィールドワーク先を選定することとした。

NTT東日本スマートイノベーションラボ



アイデアを自由に発想できるスペースや、AIをわかりやすく体感できるスペースなど時代の先端での学びを生み出す場所だった。



ワーク
ショップ
振り返り

NTT東日本イノベーションラボは確かに最新技術も兼ね備え、設備も整った素晴らしい学び場であった。

しかしながら自分たちの課題解決や学びの場になるかについては疑問を抱く結果になった。

もっと身近にある、誰にも気づかれていない学びの場があるのではないかとメンバーで考え、もっとローカルな、自分たち目線で学びの場を探すことにした。

取材先マップ

ブランチ仙台
「asobi基地仙台」

仙台市シルバーセンター
「大人の未来学校」



ひとつぼ図書館
「オシツオサレツ」

笹気出版印刷株式会社
「まなびのめ」

各メンバー取材



「まなびのめ」笹氣出版印刷（株）

仙台に拠点を置く出版社であるが、医療関係イベントの出版の依頼が増えたことをきっかけに一般の方にも学びの情報を発信したいと「まなびのめ」を刊行。毎号テーマを決め、教授や専門家の方々からそのテーマに沿った取材でお話を伺ったり、学びのイベント情報の発信を行っている。



asobi基地仙台 齋藤 愛さん

齋藤さんは東京在住の時にasobi基地に参加、旦那さんの転勤で仙台に来たが、そこで仙台でもasobi基地ができないかと立ち上げた。子育て世代が背中を見せることで次の子育て世代を作りたい、という考えがある。結婚や子育てがいいよね、と思える次の世代を作りたいと考えている。

各メンバー取材



「オシツオサレツ」ひとつぼ図書館

本屋さんや八百屋さんがなくなっていく町に寂しさを感じ、いつでもだれでも立ち寄れる場を作りたかったのがきっかけ。

昔からある町であるにもかかわらず、住民間の関係が希薄であることに寂しさを感じていた。

図書館のコンセプト

- ・いつでもだれでもお好きな気分でお立ち寄りください
- ・本をどんどんおススメする
- ・本を見せることは自分を伝えること
- ・パブリックアート、表現活動としての図書館
- ・「オシツオサレツ」という名前はドリトル先生シリーズに登場する架空の動物の名前から



各メンバー取材

仙台市シルバーセンター「大人の未来学校」

大人の未来学校

土曜のひととき、
10年後、20年後、30年後の未来の自分のために、
【人の話に耳を傾け、未来へのヒントを探る】
時間を通じてみませんか。
※「大人の未来学校」は30歳代～50歳代の方を対象とした講座です。

第1回 セカンドライフへのプランニング～お金と将来のくらしを考える～ 申込受付終了
令和2年9月12日(土) 13:30～15:00 講師/福山FP会 代表 福山 弘之 氏

第2回 「新しい生活様式」でのコミュニケーション～「暮らしの未来」を「変わる未来」に～
令和2年10月10日(土) 13:30～15:00 講師/キャリアコンサルタント 講師 眞木 実 氏

第3回 今の食事が未来のカラダをつくる！～カラダの中から整える食べ方のコツ～
令和2年11月14日(土) 10:30～12:00 講師/健康福祉センター 管理栄養士 飯野 元 氏

第4回 睡眠の役割と、暮らしの中での快眠知識
令和2年11月28日(土) 10:30～12:00 講師/東北福祉大学 准教授 水野 康 氏

第5回 楽しみながらアーカイブ～古地図・古写真の活用～
令和3年1月16日(土) 10:30～12:00 講師/協会の事務局 代表 佐藤 正実 氏

- ◆30歳代～50歳代の方を対象とした、早割の講座です。
- ◆事前、受付開始日の18:00からお申し込みを受け付けます。(先着順)
- ◆会場はすべてシルバーセンターです。(仙台駅から徒歩8分/弘前地区会場)
- ◆受講料は各回500円です。前日お支払いください。
- ◆このチラシは年間の予定です。都合により、開催日時・内容・会場等が変更になる場合があります。当事務所ホームページでご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】シルバーセンターいきが推進課 交流啓発係
電話 022-215-3170 週土・日・曜日、夜間(21:30まで)も受け付けております。
FAX 022-215-4140 Eメール kouryu@sendai-hw.or.jp
【主催】公益財団法人仙台市シルバーセンター

シニアの生きがいの創出という社会課題・使命がある中、実際にシニアになる前から考えてほしい、ということで始めました。考えてもらう「きっかけ」となるものがあるというのは、意義深いと思いました。きっかけの創出だったり、動き出す後押しをするというのは、まちづくり活動の役割の1つなのかと感じました。

取材した方々の共通項



- 何かしらの課題を感じている
- 自分が面白いと思ったものを形にしている
- 活動への熱量が高い
- 競合がない（独自の課題解決を行っている）

学ぶ場よりも
人である

今回のワークショップ、フィールドワークを通じて感じたことは、学ぶ場ではなくその学びを与える人が重要だということでした。

その学びを与える方々へもっとフォーカスを当てて、それが仙台市の学びの成長にも繋がっていくのではないのかと思っています。

こんな事を掲載してみても



活動の経緯



その人たちの
想いや考え



開催レポート
(過去の活動)



サポセンとの協働？